

第8回

化学物質の内分泌かく乱作用

(いわゆる環境ホルモン作用)

に関する国際シンポジウム

一般向けプログラム ▶ 2005年12月4日(日)14:00~16:00 ▶ 沖縄ハーバービューホテル

専門家向けプログラム ▶ 2005年12月5日(月)6日(火)終日 ▶ 沖縄コンベンションセンター

主催 環境省

後援 沖縄県、沖縄県教育委員会、那覇市、宜野湾市、本部町

International Symposium on Endocrine Disruption 2005

このシンポジウムは、環境省が、化学物質の内分泌かく乱作用(いわゆる環境ホルモン作用)問題に関して、市民の皆さまと情報を共有するために、毎年開催しているものです。

今回は、「今、自然界で何が起きているのか? ~ 内分泌かく乱作用から生態系をどう守っていくのか ~ 」というテーマでパネルディスカッションを行います。多くの県民・市民の皆さまにお集まりいただき、パネルディスカッションを通じて、この問題について理解を深めていただくことを目指しています。

また、12月5日・6日には、国内外の専門家にお集まりいただき、最先端の研究・取組について議論していただきます。



開会挨拶 14:00-14:30

パネルディスカッション 14:30-16:00

「今、自然界で何が起きているのか?

~ 内分泌かく乱作用から生態系をどう守っていくか ~ 」

「野生生物にどんな変化が起きているのか?」、「どんな物質が内分泌かく乱作用を持っているのか?」について、最新の報告をもとに話し合い、さらに、「どうすれば生態系を守ることができるのか?」について提言していきます。

コーディネーター



北野 大
淑徳大学

パネリスト



井口 泰泉
自然科学
研究機構



崎田 裕子
ジャーナリスト・
環境カウンセラー



須之部友基
千葉県立
中央博物館



中山エミリ
タレント



安間 繁樹
農学博士

第8回 化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム

(いわゆる環境ホルモン作用)

沖縄ハーバービューホテル

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2-46 TEL: 098-853-2111
<http://www.harborview.co.jp/>

2005年12月4日(日)

14:00 ~ 16:00

▶アクセスはホームページでもご覧いただけます。

12月4日当日は、那覇マラソンのため交通規制が行われますので、ご注意ください。

- モノレール ・ゆいレール壺川駅より徒歩約8分
 バス ・国内線旅客ターミナルビル前より約15分、
 「旭橋」(那覇バスターミナル内)下車、徒歩約10分
 タクシー ・那覇空港より約10分
 徒歩での道順



参加申込み

参加を希望する方は、氏名、住所、電話、FAX番号、E-mailアドレスを明記の上、インターネットかFAX、もしくはハガキで下記事務局宛にお申込みください。

11月下旬以降に参加登録証を発送いたします。

【参加申込方法】

インターネットからの申込み
 シンポジウムのホームページから、直接お申込みください。
<http://www.congre.co.jp/eed05/>

FAX、はがきでの申込み
 氏名、住所、電話、FAX番号、参加希望日を明記の上、下記運営事務局(株式会社コングレ内)宛にお申込みください。

参加費は無料です。

参加申込み締め切り:平成17年11月18日(金)
 (申込み多数の場合は、先着順となります。)



参加申込み・お問合せ先

「化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム」事務局
 〒102-8481
 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル6F(株)コングレ内
 TEL: 03-3263-5394 FAX: 03-5216-5552

E-mail: eed05@congre.co.jp

シンポジウムの内容に関するお問合せ

環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課
 〒100-8975
 東京都千代田区霞が関 1-2-2
 TEL: 03-3581-3351(内線6354) FAX: 03-3580-3596

E-mail: eri_muto@env.go.jp

専門家向けセッションプログラム紹介

会場が異なりますのでご注意ください。 沖縄コンベンションセンター <http://www.oki-conven.jp/>
 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1 TEL: 098-898-3000

12/5 (月)	午前	セッション1 疫学研究における問題
	午後	セッション2 リスクコミュニケーション: 現状と課題 セッション3 群集レベルまたは生態系 レベルでの人間影響評価

12/6 (火)	午前	セッション4 内分泌かく乱作用解明の 新たな切り口
	午後	セッション5 内分泌かく乱作用に関する 試験法開発 セッション6 化学物質のリスク評価に 関する最近の動向